

この町をもっと良い町にしたい。
子どもたちがのびのび育つ、
水と緑のしまもとを。

駅前の開発はまだ変更できる。

町営水道は廃止させません。

水道の広域化 NO、地下水 100%。

魅力を活かした水と緑の防災のまち

そのための7つの再発見

すえおか友行さんを応援します！

中島 晃（弁護士『景観保護の法的戦略』著者）

辻村英之（京都大学農学部教授）

岸本聡子（『水道、再び公営化』著者、国際政策 NGO 研究員）

佐々木祐（神戸大学文学部准教授）

山森 亮（同志社大学経済学部教授）

すえおか友行 プロフィール

大分市出身・広瀬在住・38歳・京都大学大学院農学研究科修士修了●まちでの活動 / 島本町の青少年人権教育事業「学習支援の場」講師・島本町総合計画審議会公募委員（2018-20）・新規建築物の高さ制限に関する条例案起草者、請求代表者●京都西山高校、立命館守山高校の教諭（理科・クラス担任）を経て、個人指導の家庭教師・この春まで、大阪府議会議員政策スタッフ

すえおか友行

広瀬在住 京大院卒 38歳

島本町長
町議会選挙
4月18日
投開票！

3 / 9 「島本町長立候補予定者による
公開討論会」でお話させていただきました。
討論会のようすはYouTubeで！

島本町 町長 討論会 検索

https://www.youtube.com/watch?v=u1OM2_qIbOs

再発見
6

住民の直接参加。

重要な決定は住民の合意を経て進めます。

4年前は合併、今回は町営水道の廃止が、
住民の手の届かないところで進められようとしています。日常的な関わりが必要！

- 住民集会の開催 →重要な決定前に誰でも参加できる場で議論
- 住民投票条例を制定。
- 水と緑の基金創設など、住民も水と緑のまちづくりに参加

当事者による熟議を通じ、地域の課題を解決するということは、とてもナイーブなやりかたのように思われるかもしれませんが、世界ではそうした「自治」によってよりよい未来を築き上げようとする無数の試みが始まっています。それはまた、広い意味での「主権者教育」の貴重な場ともなるはずです。



神戸大学文学部
佐々木祐 准教授

応援！

再発見
7

小回りのきく自治体だから、役割がある。

保健所の統廃合がコロナで問題になりました。

広域化や合併ではなく、この町を活かします。

万全なコロナ対策

- コロナ・福祉のワンストップの相談窓口を
- 税の減免による事業者・生活者支援

地域の課題を解決

- 福祉ふれあいバスの2便化
- 消防の広域化（町消防本部の廃止）ではなく、消防・救急の強化を。
- 水無瀬駅前に、行政・観光コーナー等を設置
- 清掃工場更新は、まず徹底的なゴミの減量化を。近隣との連携、自力建設の模索

コロナ禍で私たちは、行政サービスを効率の観点でのみ捉えて、縮小・統合することの問題に気づきました。平成の大合併の多くは、約束通りの繁栄をもたらしたのでしょうか。合併ではなく、自治に基づく連携を。



同志社大学経済学部
山森亮 教授

応援！

すえおか友行は、

みなさんと一緒に島本をもっと良いまちにしたい。

ずっと水を。もっと緑を。人に幸せを。

みんなで創るこの町を。

発行 すえおか友行後援会 2021.3 発行

事務所住所 〒618-0014 島本町水無瀬 2-3-6

☎ 090-1222-5358

🌐 <https://sueokatomoymoyuki.com>

✉ sueoka.shimamoto@gmail.com

f www.facebook.com/sueokatomoymoyuki/

🐦 twitter.com/SueokaTomoyuki



しまもとの自然を活かした、ゆとりある子育て環境のまちに。

魅力を活かした水と緑の防災のまち
そのための7つの再発見

再発見 1

景観 高さ制限で、適正人口のまちづくり。
新規の建築物の高さを20m以下にする！



建物の高さ制限を決める権限は町長にあり、町長は都市計画審議会の承認をうけ、高さ制限に関する都市計画を決めることができます。



応援！

あきら
中島晃 弁護士

『景観保護の法的戦略』著者

マンションの建設ラッシュによって、移住者も多くなり、学校では43人学級も生まれています。コロナの状況下だからこそ、適正人口で、子どもたちのゆとりある教育・保育環境を作りたい。

30人以下学級、定員内保育で保育園を選べる、一時保育の充実。

再発見 2

JR 駅前には、子どもたちのためにも、
多目的な緑の公園をつくる。

コロナの一年を経て、世界も社会も変化しています。JR 島本駅前の開発は、町の関連事業をストップ。玄関口に相応しい公園整備を求めます。町が主体的に再交渉をします。（現在は、(株)フジタによる造成工事が先行している状態で、土地建物の開発会社への売買契約や、用途は決定していません。）

広い公園を作れば、
住環境の向上にも寄与。
いざというときの
防災公園としても機能します。



「緑の新駅プラン」（島本まちづくり市民ゼミナール発行2002年）より

みんなの手で創る公園

安満遺跡公園（高槻）の整備費の半分は国からの交付金。2ha以上の公園は国の交付金が活用できます。また、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用して、準絶滅危惧種のヒメボタルの棲む生息地の保全など、自然を町民の力で守ります。

世界の潮流は、住民参加型の伝統・文化・自然を活かしたまちづくり、地元の農業を活かして資源循環・環境保全・食料安全保障の度合を高める政策です。それに反するまちづくり、特に島本の最大の魅力である、地下水の町営水道、山・川・田園がおりなす風光明媚な景観を損なうことは、時代遅れと言わざるを得ません。



応援！

京都大学農学部
辻村英之 教授



岸和田市のフクロウの森再生クラウドファンディング



再発見 3

町営水道は廃止させません。
美味しい地下水を子供たちにも。
統合ではなく、地下水100%に！

水道事業策定
のための
アンケートより

今の町営水道について8割が安心、7割が美味しい、の住民意見。

でも！

大阪府は、水道事業の広域化（市町村の事業廃止）を進め、島本町も統合案を希望しています。

最適配置案等の策定に関するアンケート	
問1 水道事業統合促進基金の活用による最適配置案等の策定を実施する場合、貴団体は、最適配置案等の策定を希望されますか。	
① 希望する。	② 希望しない。
回答欄 (①・②のいずれかを記入)	
①	
※ ①を記入された団体につきましては、市町村情報交換ページにおいて団体名及び当アンケート内容を公表いたします。	

← 2020年に町は、大阪広域水道企業団との統合案策定を希望すると回答。町営水道が4年以内に廃止される恐れも。

広域化、効率化、聞こえのいい言葉で町の水道を手放すことはとても簡単。でも取り戻すのは至難の業だと世界中の経験が伝えています。おいしい地下水が飲める町、島本を末岡さんと共に。地域の人たちの知恵と協力を超える処方箋はありません。

応援！



岸本聡子氏
国際政策 NGO 研究員
集英社新書『水道、再び公営化』著者

再発見 4&5

都市に残された農地、水源の森を保全する。
緑の防災、地下水を養う。



地下水の源になる田畑や森林は、水害やヒートアイランドを防ぎます。都市農地や森林の役割が、注目されてきている今、町でも、保全策を積極的に計画します。



都市農地を活かす & 水源の森を守る

- 田んぼダム・防災農地に登録をして固定資産税減免で支援
- 町による農地の仲介、地産地消で子どもたちに新鮮な学校給食を
- 地下水汲み上げ企業からの協力金で水源の森の維持
- 大沢・尺代地域の風倒木被害の早期復旧（2/3 補助の森林再生交付金を活用）